

SDGs貢献度定量化ツール開発研究

～企業・自治体による環境と社会問題の解決の道筋を示す～

Enhancing planetary health

2021年9月30日

日本エヌ・ユー・エス株式会社

環境事業本部 環境調和ユニット

生形 優里

SDGs定量化ツールの概要



Enhancing **planetary health**

「持続可能な社会を実現するための目標」

- ・ 2015年に国連サミットで持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）を採択
- ・ 17のゴール、169のターゲットから構成されており、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す
- ・ 誰一人取り残さないことを目指し、先進国と途上国が一丸となって達成すべき国際社会共通の目標
- ・ 公民が連携し、課題解決に取り組むことが重要



SDGsに対する社会の期待：企業へのチャンスとリスク

SDGsの設立時から企業への期待は高い

Agenda2030:

「全ての企業に対し、社会課題解決のために創造性とイノベーションを発揮することを求める」

新たな市場の創出

- ・ SDGsの達成により年間12兆ドルの事業機会が生まれる
- ・ 3億8000万人の雇用を生み出す可能性

SDGs達成しない世界のリスク

- ・ サプライチェーンの人権問題
- ・ 気候変動問題
- ・ その他環境問題

....

EU企業と共同研究を実施

- **UNEPのLife Cycle InitiativeでSDGsの定量化研究を開始**

- 開始時期：2018年
- 目的：民間企業的意思決定者・政策立案者等によるライフサイクルの考え方の浸透とSDGs取組強化



Life Cycle Initiative

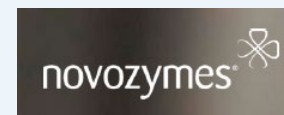


- **LCA業界の企業2社がリード**

- オランダ：Pré Sustainability
(LCA計算ツールSima Pro開発企業)
- デンマーク：2.0 LCA Consultants

- **共同研究参加企業**

- EUベース企業のメーカーが主に参加
- アジアからは日本エヌ・ユー・エス/JGC



SDGs貢献度の定量化ツールの目的

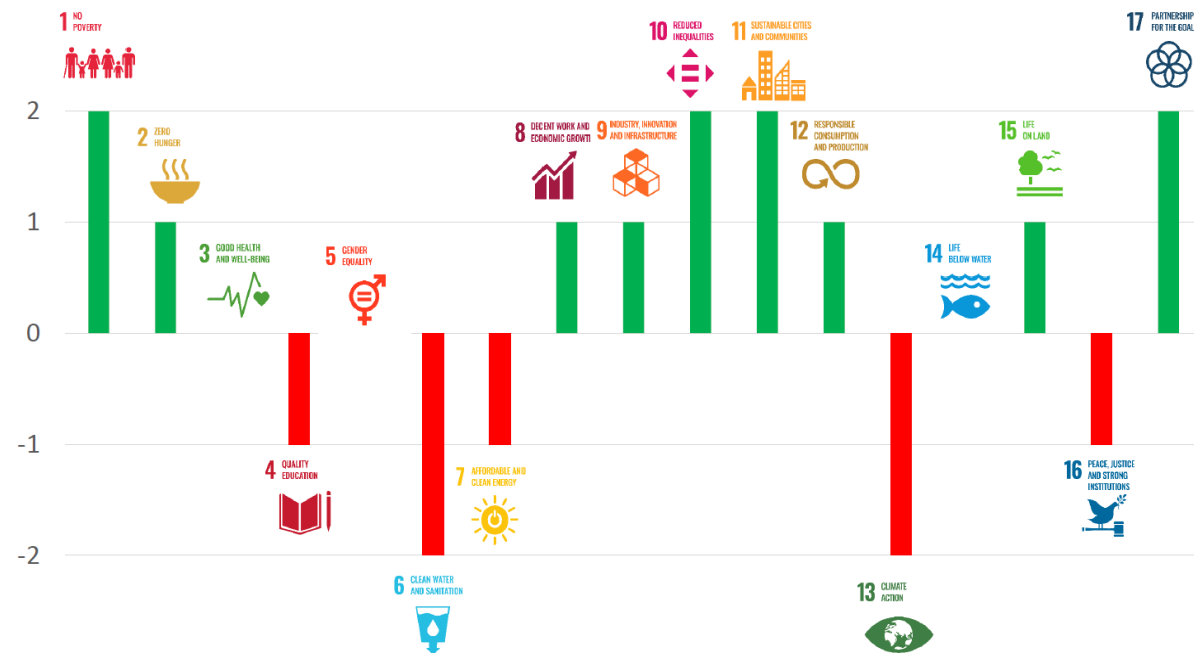
✓ **客観的な評価**が可能：LCAを用いて、定量化できる指標を構築

- SDGsウォッシングを防ぐ
- 外部に根拠のある評価結果を示す

✓ **統合的な評価**が可能：全てのSDGs項目への対応を可視化する

- 足りていない項目をリスクとして捉える
- 製品の開発段階などに反映させる

SDGs 定量化のイメージ図



1. SDGs Screening Approach

- **環境** : EF (Environmental Footprint) 3.0 を参照 (EU公開資料)
- **社会** : Handbook for Product Social Impact Assessmentを参照
- 環境評価では、Reference Pointの特定が必要

LCA計算→SDGs紐づけ

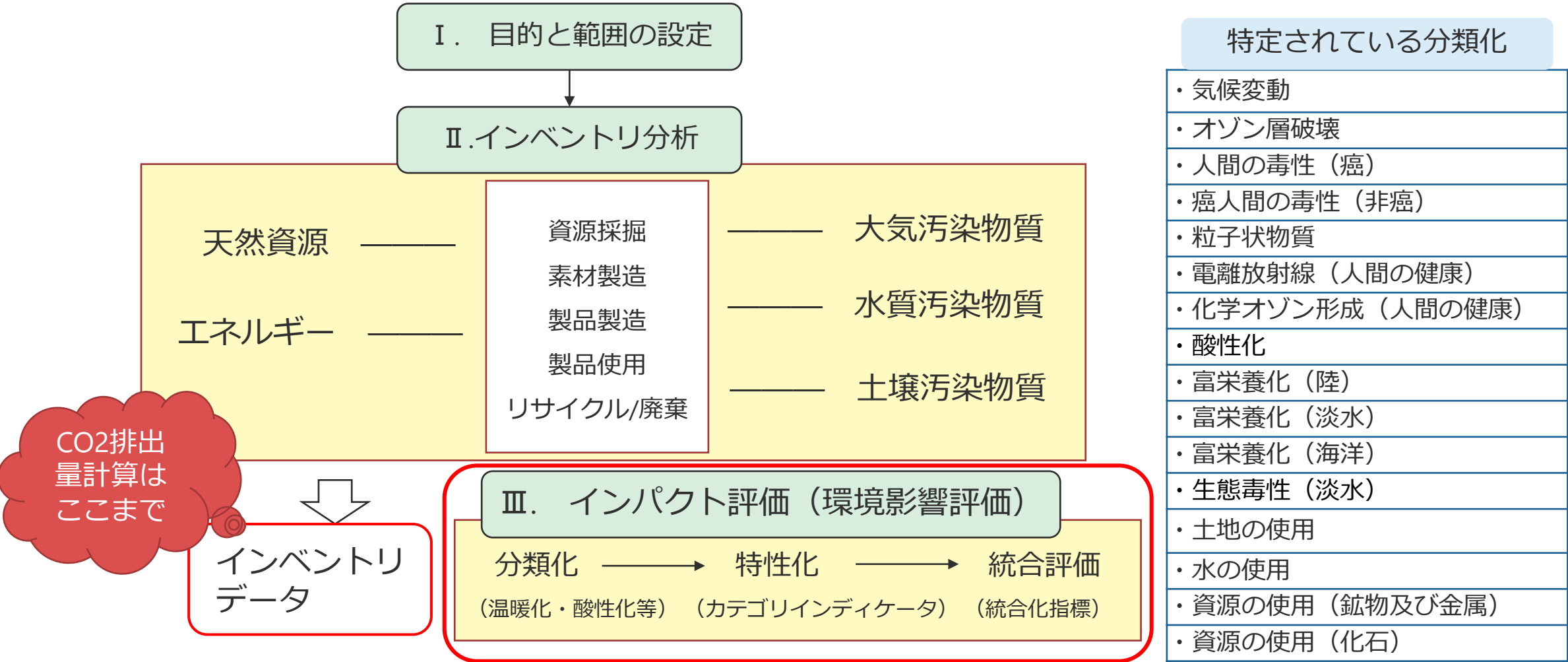
2. SDGs Assessment Approach

- LCAの実施は不要
- 概要はSDGs Screeningより複雑
- 必要なデータを把握するにはもう少し時間が必要

全く新しい手法

SDGs Screening Approach-環境影響

➤ 「影響評価」段階まで実施 (CO₂排出量の計算に留まらない)

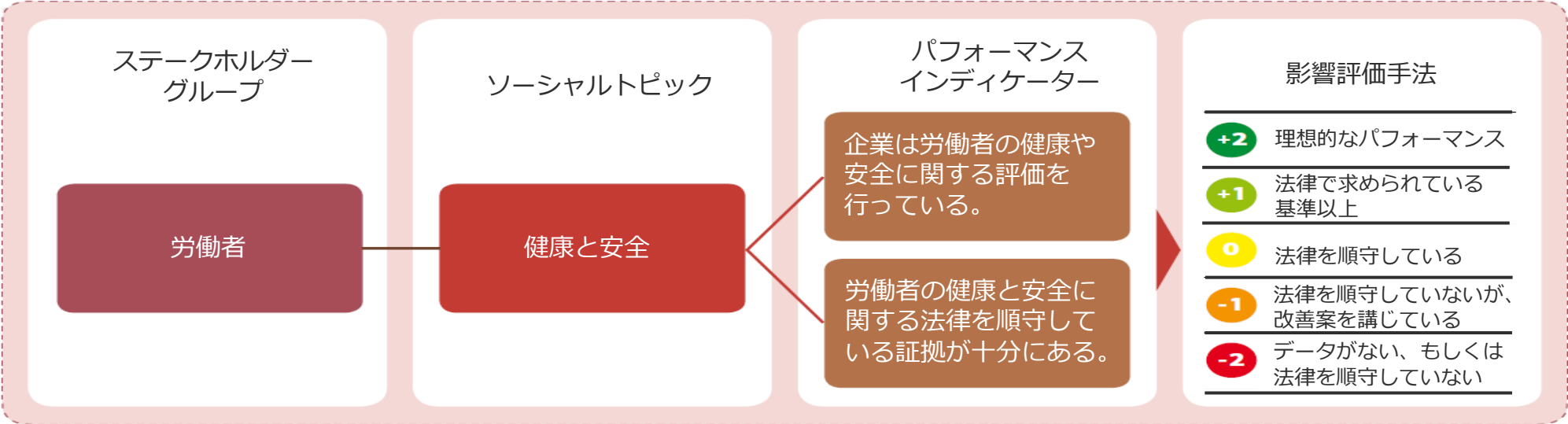


Screening Approach-社会影響

① ステークホルダーの特定

各段階に関わる ステークホルダー	製品のライフサイクル				
	サプライチェーン 原材料採取 製造、小売り		使用	製品の使用終了	
	小規模事業主	労働者	ユーザー	小規模事業主	労働者
	地域コミュニティ				

② トピック、指標の洗い出し



SDGs定量化結果までの流れ



➤ 事例：SDG12作る責任、つかう責任

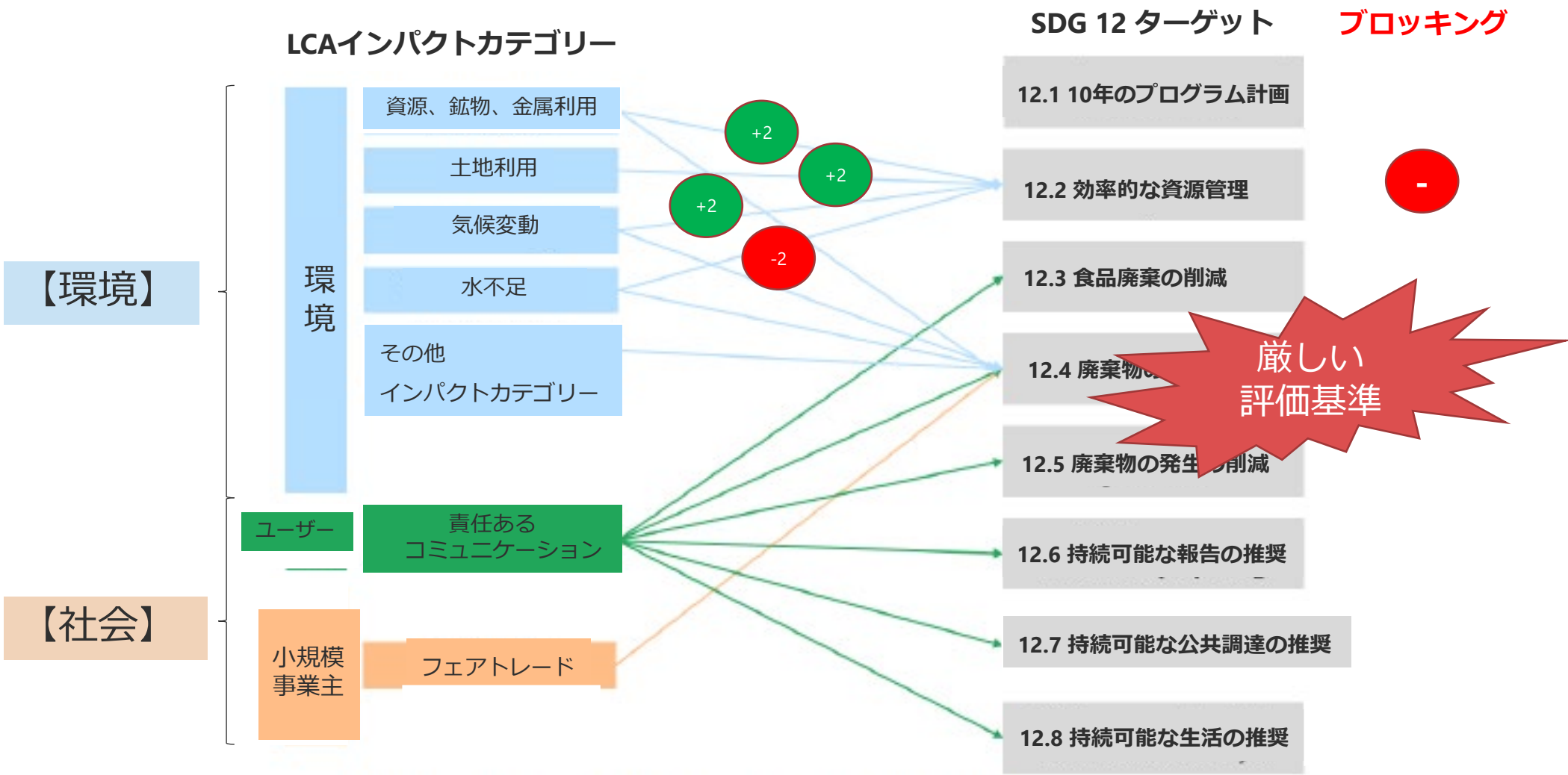


Figure 12.1 Overview of links between LCA impact categories and SDG targets for SDG 12

ケーススタディ 実施希望企業募集中

**共同研究としてケーススタディに参加していただける
パートナー企業様・自治体様を募集中です！**

◆参加するメリット：

- ・ プロジェクトベースでSDGsの定量化を行い、SDGsへの取り組みとしてアピールできる。
- ・ 定量化の結果をもとに、プロジェクトの改善ができる。
- ・ 定量化の結果に関してコンサルティングサービスを受けられる。

◆参加条件：

- ・ SDGsの定量化の手法がまだ確立していないため、共同研究として、ある程度の時間と労力がかかる。
- ・ プロジェクトに関するデータ等を企業から提供していただく必要がある。

募集・参加締切：2021年10月20日

実施期間（予定）：2021年11月～2022年1月

ご連絡先：「日本エヌ・ユー・エス株式会社 営業企画室 janus-mk@janus.co.jp」

お問い合わせ先

エネルギーと環境を考える

JANUS

営業企画室

中村 理恵／岩井 俊裕

janus-mk@janus.co.jp

下記QRコードを読み取りいただき、
アンケートへのご回答にご協力をお願い致します。
ご回答後、本日のミニセッション資料を
ダウンロード頂けます。

